



みんなの“障がい児・者作品展”

今年で18回目を迎える「障がい児・者作品展」は、障がいのある人たちの豊かな感性や個性を感じられる心温まるイベントです。



話してくれた人

真希さん

今、なかよし工房さんでどんな作品を作っていますか。

ストレートステッチなどの刺しゅうでポーチ等、いろんな作品を作っています。お弁当箱のカバンは自分で刺しゅうしたものを使っています。

この刺しゅうをし始めて、自分で変わったと思うことはありますか。

毎日なかよし工房に来るのが楽しみで、朝も起きられるようになりました。規則正しい生活ができるようになって体調もすごくよくなり、健康的になったと思います。



真希さんの刺しゅう作品

作品展に関してメッセージをお願いします。

たくさん的人に見に来て欲しいです。

取材したところ



なかよし工房

家族の方のコメント

以前は別の作業所に通っていたのですが、そこでは一様に箱を組み立てる作業をしていました。当時の真希はストレスからか体重も落ち心配していました。そんな時、なかよし工房さんへ体験で伺うと真希自身も生き生きとした様子で過ごすことができ、通うことになりました。今は休まず、通所途中の苦手な犬に怯えながらも1人でなかよし工房さんに通うことが真希の楽しみのようです。これからのことを考えると不安もありますが、ご近所さんや友達の輪の中に入れてもらうよう意識して過ごしています。



障がい児

日時
12月3日～9日
午前9時30分～午後5時

問い合わせ 芦屋市障がい児童青少年支援センター
☎31-0739/FAX32-7529

障がいのある人にも、ない人にも。 「芦屋市みんなにやさしいお店」

「芦屋市みんなにやさしいお店」とは、障がいのある人が来店した時にできる限り配慮することを心がけ、障がいのある人の社会参加を応援するお店のことです。手すりがある、筆談ができるなどのお店はもちろん、障がいのある人の立場に立ち「ていねいな」「わかりやすい」対応を心がけているお店であれば登録できます。登録していただくと、店舗の情報をホームページやInstagramなどに掲載して周知します。



▲ASHIYAみんなにやさしい
お店公式Instagram

合理的配慮を提供するための 費用を助成します

市内のお店や病院が合理的配慮を提供するためにかかる費用の一部を助成します。事前申請が必要です。例えば、手すりの設置・段差の解消工事、多機能トイレへの改修、物品の購入、点字メニューの作成、障がい理解のための社内研修、イベント開催時の手話通訳派遣などにかかる費用が対象です。詳しくは、ホームページからご確認ください。



ホームページ

手話パンフレット できました

聴覚障がいのある人や市内の高校生たちと一緒に、聴覚障がいや手話を周知・啓発するためのパンフレット「手話de心をつなげよう」を作りました。内容はホームページからご覧になれます。



ホームページ

